

病院・医療施設向け配線器具(医用器具 JIS規格適合品)

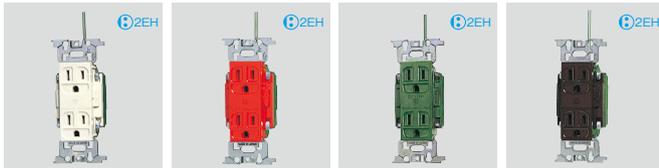
●適合プレートは302~310頁をご参照ください。

絶縁と器具の使いやすさ、すべて安全配慮への必須条件です。

内線規程により、病院、診療所などにおいて、医療用電気機械器具を使用する部屋のコンセントには、JIS T 1021(医用差込接続器)に適合するものを使用し、JIS T 1022(病院電気設備の安全基準)に基づいて接地工事を施す必要があります。(内線規程3202-3より抜粋)

医用接地形コンセント(JIS-T1021-2008)

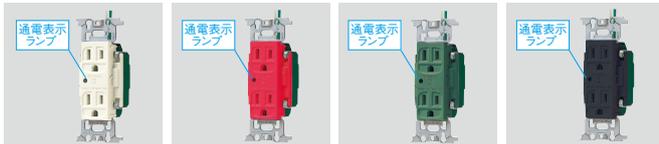
- 接地極の刃受け及び刃は、すず又はニッケルめっきを施した銅合金とする。
 - 接地接続はリード線式とし、接地極刃受部とリード線はリベットまたは、圧着接続とする。
- JIS-T1021(医用差込接続器)の耐衝撃強度を満たし、導電部の耐熱性能を確保するため、特殊強化プラスチックを使用していますので、若干他の器具と表面色調が異なります。
 - リード線は長さ150mm、断面積2.0mm²を使用しています。



フルカラー-医用アース付ダブルコンセント ① WN1318 希望小売価格 1,300円(税抜) 15A 125V ④	フルカラー-医用アース付ダブルコンセント(赤) ② WN1318R 希望小売価格 1,300円(税抜) 15A 125V ④	フルカラー-医用アース付ダブルコンセント(緑) ③ WN1318G 希望小売価格 1,300円(税抜) 15A 125V ④	フルカラー-医用アース付ダブルコンセント(チョコ) ④ WN1318A 希望小売価格 1,300円(税抜) 15A 125V ④
---	---	---	---

●寸法図は280頁ご参照。

●通電表示ランプ付(非常時使用可能なコンセントが一目で確認できます)



フルカラー-医用アース付ダブルコンセント ① WN13185 希望小売価格 1,550円(税抜) 15A 125V ④	フルカラー-医用アース付ダブルコンセント(赤) ② WN13185R 希望小売価格 1,550円(税抜) 15A 125V ④	フルカラー-医用アース付ダブルコンセント(緑) ③ WN13185G 希望小売価格 1,550円(税抜) 15A 125V ④	フルカラー-医用アース付ダブルコンセント(チョコ) ④ WN13185A 希望小売価格 1,550円(税抜) 15A 125V ④
--	--	--	--

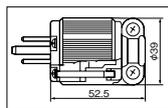
●通電表示ランプ…オレンジ色

医用接地形プラグ(JIS-T1021-2008)

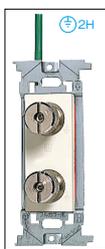


- 医用接地形プラグ
- 内部の結線状態がわかる透明外かくを採用。
- 外かく、コードグリップなどの強化プラスチックを採用。

医用接地15Aキャップ
① WF5018 希望小売価格 1,350円(税抜)
15A 125V ④



接地端子(JIS-C2808-2006)



- 医用接地端子
- アースセンターから接地分岐線により各医用室に設置し、医用機器の安全を高めます。
- フルカラー-医用埋込アースターミナル適合プレート3コ用プレート
① WN3041
希望小売価格 1,450円(税抜)
② WN3041R(赤)
③ WN3041A(チョコ)もあります。
- 寸法図は336頁ご参照。

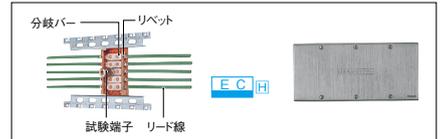
■フック形端子 注)接地端子への結線はフック形圧着端子 d=4.3, 1≤1.0 のものを使用してください。



接地センター(JIS-C2808-2006)

●医用接地センター

接地幹線から引き込み、アースターミナルへ接続する中継部、コンパウトにまとめました。



フルカラー-医用埋込アースセンター(専用ステンレスプレート付)

- 適合ボックス:5コ用ボックス
- ① WN3049K 希望小売価格 5,000円(税抜)
- 寸法図は336頁ご参照。

(JIS-T1022-2007)

1 保護接地

- 医用コンセント及び医用接地端子の接地用リード線は、医用接地センターのリード線に接地分岐線によってそれぞれ直接接続すること。
- 接地分岐線は、JIS C3307に適合するものとし、公称断面積が5.5mm²以上で絶縁体の色が緑/黄又は緑のものを使用すること。
- 医用コンセントの接地極刃受け又は医用接地端子の端子部と、医用接地センター間の電気抵抗は、無負荷電圧が6V以下の交流電源によって約25Aの電流を流し、電圧降下法で測定したとき、0.1Ω以下とすること。
- 医用接地センター及び医用接地端子は、JIS C2808に適合するものを使用すること。
- 100V系に使用する医用コンセントは、JIS-T1021に適合するものを使用すること。

抜粋

2 等電位接地

- 医療を行うため患者が占める場所から水平方向2.5m、床上高さ2.3mの範囲にある固定設備の露出導電性部分及び系統外導電性部分、①(1)の医用接地センターのリード線へ①(2)に規定する接地分岐線によってそれぞれ直接接続すること。この場合において、1患者に対する上記範囲内の等電位接地に用いる医用接地センターは、同一のものとする。なお、系統外導電性部分で、表面積が0.02m²以下のものは、等電位接地を施す対象から除外してもよい。
- 等電位接地を施した導電性部分と医用接地センター間の電気抵抗は、無負荷電圧が6V以下の交流電源によって10~25Aの電流を流し、電圧降下法で測定したとき、0.1Ω以下とすること。
- 導電床をもつ手術室などにおいて導電床の下敷きとなっている銅テープ又は金属網などは、原則として医用接地センターに接続すること。

抜粋

3 接地幹線

- 鉄骨造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の建物にあっては、接地極から医用室のある階までの接地幹線は、建物の鉄骨又は2条以上の主鉄筋を使用すること。備考 建物の鉄骨又は鉄筋を接地幹線に用いる場合は、接地極までの電気的接続が確実であること。
- 建物の鉄骨又は鉄筋以外の接地幹線は、JIS C3307に適合するものとし、公称断面積が14mm²以上で絶縁体の色が緑/黄又は緑のものを使用すること。なお、X線装置などの据置形の医用電気機器などの接地線を接続する場合の接地幹線の公称断面積は、接続する接地線のうち最大の公称断面積以上とすること。
- (1)の場合において、二つ以上の医用接地センターに接続する横引き接地幹線は、建物の鉄骨又は2条以上の主鉄筋に2か所以上で接続すること。
- (4)接地幹線を医用接地センターへ接続する場合、医用接地センターボディのリード線2本を一括して堅固に接続すること。

抜粋

参考図 医用接地方式の概念図

